

北九州市議会議員 大久保むが

市政レポート

かわら版 第五十一号

狩猟免許試験に合格

近年、北九州市ではイノシシによる農作物への被害や相談が増加を続けています。

杉などの植林が増える一方で雑木林が減るなどして、木の実などの食料がなくなり、里山から人里へイノシシが下りてくるようになったことが要因とされています。

また最近では外来種のアライグマが野生化するなどの報告も多く、鳥獣被害は様々な場所で報告されるようになってきました。

鳥獣被害といっても、例えばごみステーションを荒らすのは、カラスや猫などが多いのですが、このように山からイノシシが下りてきたり、アライグマが住宅街に住み着き、群れから



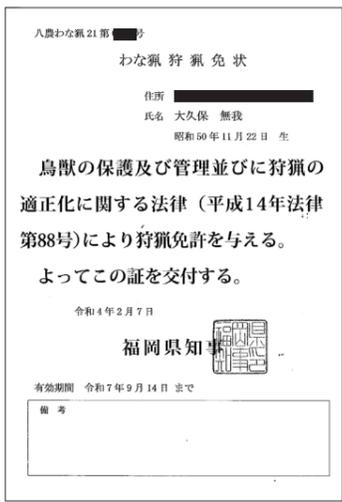
▲箱罾の練習をする様子

外れたはぐれザルが現われるなどの報告も多くなっています。

本市では農作物だけでなく、市民の皆様の生活環境を安全に保つためにもこうした鳥獣被害を未然に防止しつつ、野生動物を捕まえるだけではなく上手く共生するためにどうしたらよいかを考えていかなければなりません。

そうした現状を知ること、市政に政策として反映させていくことができるのではないかと考え、今回、狩猟免許を取得しました。

皆様の周りで発生している鳥獣被害の現状について、何かございましたらぜひ教えてください。



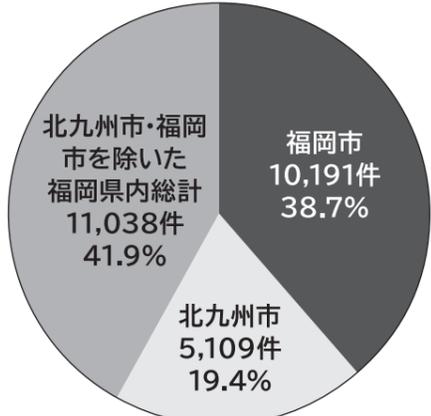
日本一治安を改善させた街。北九州市

一〇のほど2021年の刑法犯認知件数の確定値が発表されました。北九州市は19年間連続で刑法犯認知件数は減少しており、昨年までの減少率は政令市で1位となりました。

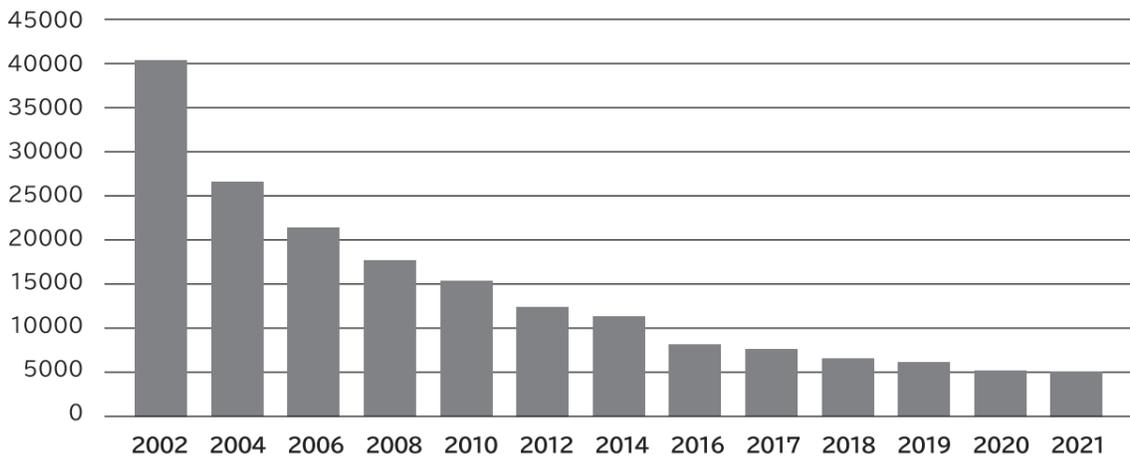
大久保むが事務所
北九州市八幡西区則松二一九一
TEL 〇九三一九八〇一六八〇六
FAX 〇九三一九八〇一六八〇七
https://www.mugamuga.net/
E-mail yahatanishi@mugamuga.net



福岡県内の刑法犯認知件数2022



北九州市の刑法犯認知件数2002~2021



北九州市の刑法犯認知件数の推移	
西暦	件数
2002	40,389
2004	26,562
2006	21,420
2008	17,639
2010	15,295
2012	12,409
2014	11,267
2016	8,124
2017	7,570
2018	6,504
2019	6,127
2020	5,145
2021	5,109

カーブミラーが付きました

長らく市に対して求めてきましたカーブミラーの設置が実現しました。住宅街から下る緩やかな下り坂の最もカーブがきつい部分で、長らく事故が心配されていた場所でした。地元の方たちからの要望を受けて現地確認を行い、地元の方々の要望書を添えて市へ要望を行い、検討の結果設置が実現しました。

(場所 北九州市八幡西区浅川 浅川テラス)



カーブミラー設置前



カーブミラー設置後



高騰するガソリン価格の旧暫定税率分を下げるいわゆるトリガー条項の凍結解除と発動を政府に求める意見書を市議会に提出

原油の減産やウクライナ情勢を受けて、世界的な原油価格の高騰が続いています。原油価格の高騰が続けば、食料品の輸送や農業生産や漁業にかかるコストの増大、電気代の上昇など、私たちの暮らしの隅々に関わるあらゆることに影響を及ぼすことになり、私たちの家計を大きく圧迫することに繋がります。こうした事態になりつつある中、原油価格の高騰が続きガソリン価格が160円/ℓが3カ月連続で超えた場合に暫定税率分約25円をゼロにするいわゆるトリガー条項の発動を求める意見書を会派として提出し、全会一致で可決されました。

今後は国において市民・国民生活を守るために、早急にトリガー条項の凍結解除を強く求めて参ります。



ボートレース若松のボートパーク構想とは

●誕生から70年
昭和7年に若松競艇場が誕生し、今年で70周年を迎えます。

西日本で初めてのナイターレースの開催や、全国のボートレース場に先駆けてボルタリングパークやボートランドの誘致した「わかわかランド」、講演会やパーティーの開催が可能な地域貢献施設クレカ若松など、ボートレース若松は意欲的に地域での存在感を高めています。

さらに、売り上げから毎年市へ多額の繰出しが行われており、直近の5年間で141億円の繰出しをするなど、本市の財政も力強く支えています。

●好調な売り上げ、一方で来場者は減少

好調な経営を続けるボートレース若松ですが、売り上げが上昇する反面、来場者数は減少が続いています。ここで危惧されるのは、ボートレース場への来場者減少は将来的にはファンの減少につながり、事業継続にも支障が出る可能性があります。

そのような中、全国のボートレース場が、ボートレース若松の取り組みにヒントを得て、ボートパークという構想がはじまり、展開されています。今回、ボートレース若松の西側スタンドの大規模改修に併せて、本

格的なボートパークの整備も同時に行うことが計画されています。

●どんな施設、規模なのか？

今回計画されているボートパークは、ボートレース若松の東スタンド棟前の12,000㎡を活用し、芝生広場、多目的広場、噴水広場、新わかわかランド、ボルタリングパークの拡充などが計画されています。広大な駐車場を有効活用することでボートレースのイメージを良くし、将来のボートレーサーやファンの獲得に結び付けることが期待されています。

また、この施設の整備に要する費用は、全てボートレース若松の収益から支出され、市の一般財源への影響はありません。



コミュニティパーク化事業のイメージ図
出典:BR振興会本場活性化検討委員会資料

大久保むが今号の1枚

タコ公園

みなさん、タコの形をした遊具、通称タコ公園を、ご存知の方は多いのではないのでしょうか。

この遊具は全国に点在していますが、北九州市にはなんと11か所の公園にこのタコ遊具が存在しています。これほど多くのタコの遊具がある自治体はとても珍しいそうです。

タコの遊具はおおよその形は似ているものの、1つ1つ公園の広さなどによって設計され、職人さんがモルタルを使って1つずつ手作りで製作するため、2つと同じものが存在しない、と言われています。

そして、関門だこで有名な門司区には全国でも最大級のタコ遊具があり、この八幡西区にも2つのタコ遊具(タコ公園)が存在しています。



北九州市内に点在するタコ公園、なぜタコなのかは分かりませんが、是非遊びに行ってみてください。

北九州市議会議員 大久保むがプロフィール

平成6年福岡県立北筑高等学校卒業。平成10年九州国際大学国際商学部卒業後、平成12年から元衆議院議員・北橋健治氏の秘書に。その後、さらなる政治の勉強をするため、平成18年北九州市立大学・法学研究科に入学、政策科学を学ぶ。勉学のかたわら、参議院議員・大久保勉氏の秘書を平成19年まで務める。平成20年3月、北九州市立大学・法学研究科を卒業。同時にヘルパー2級取得。平成21年北九州市議会議員に初当選、総務財政委員会に所属。2期目前半に環境建設委員長に就任。3期目の前半に教育文化委員会。現在は経済港湾委員長。「国民民主党」「立憲民主党」の合流に参加せず現在は無所属。NPO法人「KID's Work」スタッフ。



大久保むが事務所

〒807-0831 北九州市八幡西区則松2-9-2 Tel 093-980-6806 Fax 093-980-6807
https://www.mugamuga.net/ E-mail yahatanishi@mugamuga.net



今号の一句

夏休み
イカした仲間と
タコ公園

